

鱒沢地区まちづくり計画書

鱒沢地域づくり連絡協議会



計画目標

清水流るる あつき里
私の鱒沢 みんなが主役 ここで生きる

◆ 目次 ◆

1. 計画策定の背景と趣旨	1
2. 鱒沢地区の概要	3
3. 住民アンケート調査	5
4. 計画の目標と4つの基本方針	8
5. 計画の推進体制	11

1. 計画策定の背景と趣旨

◆ 計画策定の趣旨

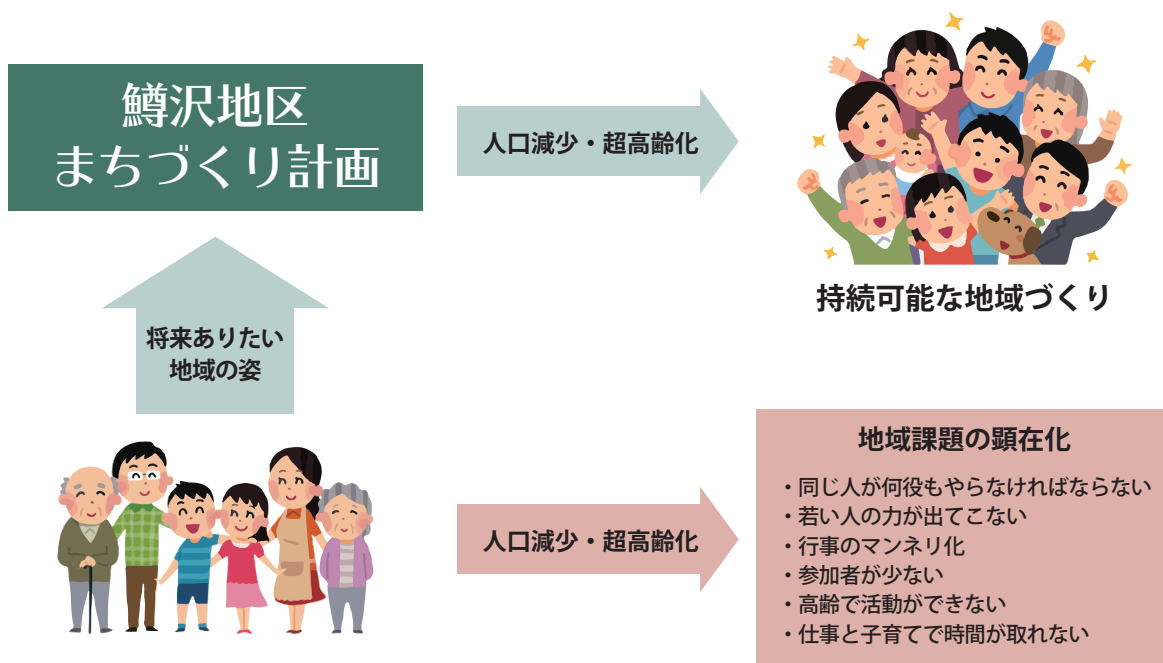
鱒沢地区では、旧宮守村時代から自治会ごとに地域の特性や実態に応じて活発に地域活動に取り組んできました。しかし、平成17年10月の市町村合併時と比べると、鱒沢地区の人口は248人減少して980人となり、高齢化率も43%（6.7%増）となっています（平成31年2月末現在）。そのため、自治会活動をはじめ、地域活動に係る各世帯への負担は増えており、このまま人口が減り続けた場合、地域活動がこれまでのように行えなくなるだけでなく、地域の暮らしに様々な支障が生じることが予想されます。

この計画は、鱒沢地区の持続可能な地域のあり方について話し合い、地域にとって本当に必要なものを地域住民で再確認するとともに、地域課題の解決に地域住民が取り組んでいくための指針として策定しました。

◆ 計画策定の背景

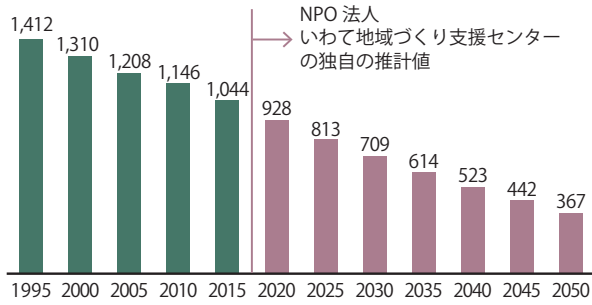
平成17年10月1日時点の鱒沢地区の人口は1,227人でしたが、平成30年6月末時点には994人となり1,000人を下回りました。さらに、人口は減少し続ける見込みであり、特に若い年代の減少が著しく、このままの人口減少が続いた場合、2025年には働く世代の人数より高齢世代の人数が上回る予測が背景にあります。

地区まちづくり計画のイメージ図



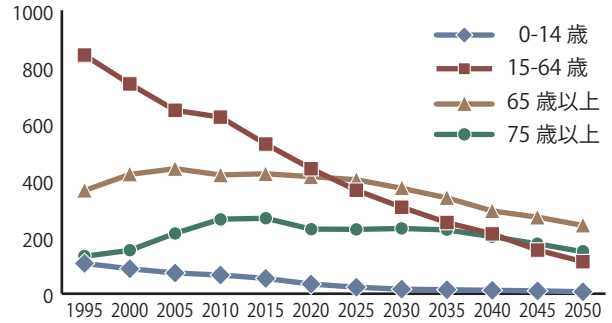
地区まちづくり計画とは、人口減少及び超高齢社会の進行を背景に様々な地域課題を抱える中で、将来の地域コミュニティ及び地域活動等を見据え、地域づくり連絡協議会単位で、地域住民が主体となって、その地区住民の合意形成を図りながら策定する計画です。

鱒沢地区の人口の推移と推計



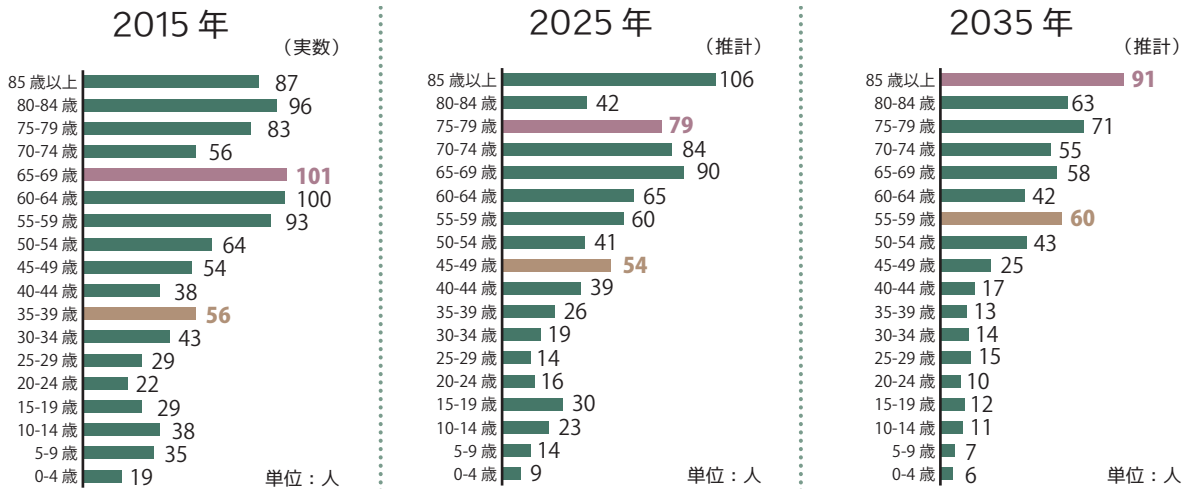
このまま推移した場合、合併時から約20年で400人の人口が減少し、約30年後の2050年には367人まで減少する見込みです。

鱒沢地区の年齢層別の人口の推移と推計

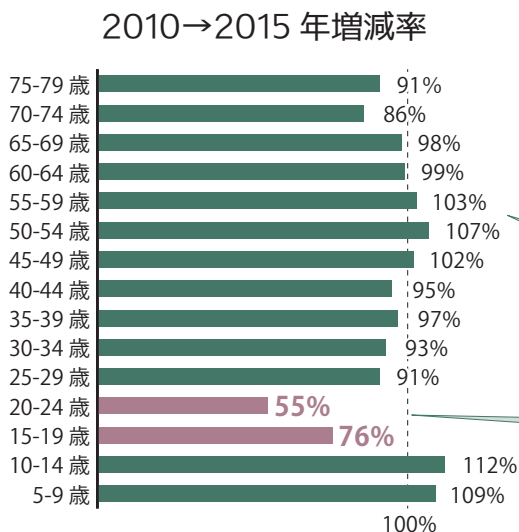


特に15歳から64歳の働く世代の人数の減少が著しく、2025年には65歳以上人口が上回る予測です。

鱒沢地区の5歳区分人口の推移



鱒沢地区の人口増減率 (2010年→2015年)



20～24歳に進学や就職等により鱒沢を離れ、その後Uターンが少ないこと、生まれる子供の人数が少ないことから高齢化が今後一層深刻化する予測となっています。

親の介護等でのUターンは少しである

高校、大学への進学や就職で地区外に転出

5年で約100人ずつ減少しており、人口推計においても同程度の人口減が予測されます。さらに、5歳区分人口の推移からは、2035年には15歳以下の人口割合が約4%、65歳以上の高齢者人口が約55%と、少子高齢社会が進行していくと予測されます。

◆ 計画の期間

2019年4月1日から2024年3月31日まで ～5か年計画～

鱒沢地区まちづくり計画は、事業の見直し等を行い実効性のある事業計画として各事業を効果的に実施するために、毎年度更新するローリング方式とします。

◆ 計画策定の経緯

計画の策定に向けて、全世帯を対象としたアンケート調査を実施するとともに、各自治会から策定委員を3名ずつ選出し、策定委員による策定ワークショップを5回にわたり開催し、地域の課題や将来像、何に取り組むべきかなどについて話し合いを重ねました。

①住民アンケート調査

8月に、鱒沢地区の全世帯に対し、調査票を2票ずつ配布した。

調査票は区長と班長を通じて配布、回収した。

◆回答世帯数 277戸

◆回収票数 472票

◆実施期間 8/2～8/16

②地区まちづくり計画策定ワークショップ

第1回 6月27日(水) 鱒沢地区の現状と課題を共有する

参加者人数：36名

第2回 7月25日(水) 鱒沢地区の行事や各種組織の現状を共有する

参加者人数：25名

第3回 8月29日(水) 住民アンケートの結果について地域づくりの方向性を検討する

参加者人数：25名

第4回 9月26日(水) 地域づくり活動案を絞り込む

参加者人数：21名

第5回 10月31日(水) 計画書(案)のチェック

参加者人数：21名

2. 鱒沢地区の概要

鱒沢地区の概況や特性、地域の強みや課題を整理しました。

◆ 鱒沢地区の概況

鱒沢地区は、宮守町の南部に位置し、地区の南側を北上川の支流猿ヶ石川が東西に貫流し、主にその両岸に沿って農用地が開けているとともに集落が形成されていますが、大規模な台風や集中豪雨時には上流部での増水により建物や農作物への被害を受けやすい地域でもあります。

行政区は6行政区、自治会は5自治会から構成され、各行政区に地区集会施設が整備されており、これを核に自治会や地域活動団体が自立した形での活動等を行っています。地域内の施設として、保育園、小学校、出張診療所、警察官駐在所、簡易郵便局があります。

また、JR釜石線(柏木平駅、鱒沢駅、荒谷前駅)、国道107号線、国道283号線及び東北横断自動車道釜石秋田線(宮守IC)が通り沿岸部への結節点となっています。

地区は自然・歴史。文化的資産に恵まれ、柏木平地区にはコテージランドかしわぎ、多目的グラウンド及び鱒沢やながあり、観光・レクリエーション施設が集積しています。さらには、県指定文化財、市指定文化財や遠野遺産に認定された有形・無形文化遺産や郷土芸能などもあります。



◆ 鱒沢の資源 ～地域の宝～

鱒沢地区には、ゆたかな自然や社寺仏閣などの歴史など多くの資源があります。これらを鱒沢の強みとして、地域の活性化に活かしていくことが期待されます。

ゆたかな自然

エドヒガンサクラ 桜並木
ハナカジカ ゲンジホタル
ビオトープ 湧水
長泉寺カヤの木 七曲山

おいしい産物

農産物（ピーマン、ホップ）
やな場 タラの芽 養鶏所

ここにしかない歴史

砥森神社 白石神社 八幡神社
熊野神社 鞍迫観音 水神様
駒形神社一里塚 長泉寺
愛宕神社遊井名田番所跡
鱒沢左馬之助城跡 江刺街道 高館
郷土芸能（迷岡神楽、柏木平神楽、白石神楽、鱒沢獅子踊り、鱒沢田植踊、鱒沢神楽、白山神楽）

活かしたい施設

上鱒沢緑地公園
グランドゴルフ場整地
レイクリゾート
コテージランド
ゆうゆう広場 ガラス工房
大正商店（創業 103 年）
コンビニエンスストア
宮守 IC トンネル跡

◆ 直面している問題や課題

一方で、人口の減少や高齢化を背景として、様々な問題も見られるようになっていきます。

地域行事や組織の苦労や問題

- × 役職が多い。役員のなり手がいない。
- × 参加者が少ない、人集めが大変である。
- × 新事業が少ない。
- × 行事の盛り上がりが少ない。
- × 休止している神楽を復活させたいが担い手が不足。
- × 若い人の活躍の場が少ない

暮らしの不便や問題

- × 街灯がない。
- × ガソリンスタンドがない。
- × 上流からの砂利で水位が上がった。
- × 松くい虫が発生。
- × 子供が少ない。
- × カフェやサロンのような場所がないので気軽に話し合いができない。

3. 住民アンケート調査

計画の検討に先立ち、全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。

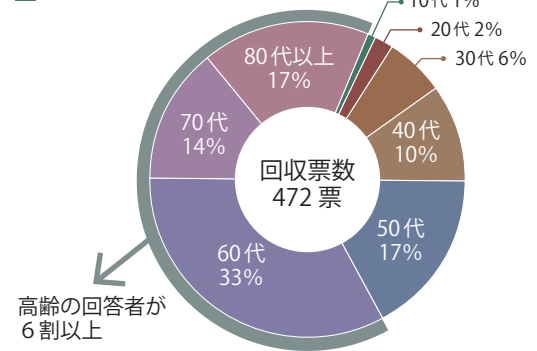
◆ アンケートの回収状況

鱒沢地区の全世帯（378世帯）に対し、調査票を2票ずつ区長と班長を通じて配布し、回収しました。

回答は、277世帯（全世帯の75%）から472票（15歳以上人口の51%）から回答がありました。（回答世帯数277戸、回収票数472票）

回答者の年齢は60代が33%、70代が14%、80代以上が17%と、高齢の回答者が多く、合わせて6割を超えています。

回答者の年齢構成



◆ 結果の概要

世帯の特性

子どもがいる世帯は19%に留まっており、子供のいない世帯が大半を占めます。

高齢者世帯（70歳以上のみ）は17%を占めます。特に、5区における比率が高く27%を占めます。

自治会活動の参加状況

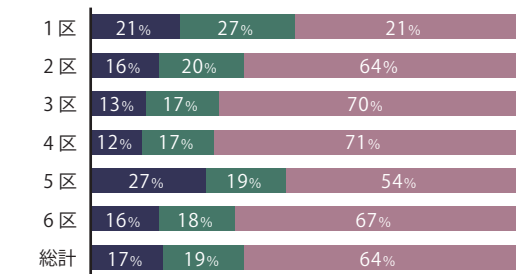
自治会活動に参加しているかについては、全体では「役員として参加」が8%、「一般参加」が70%を占め、大半の住民が自治会活動に参加しています。

しかし、年齢別にみると20～30代の参加率は低く過半数が「参加していない」状況となっています。

鱒沢地区の住みよさ

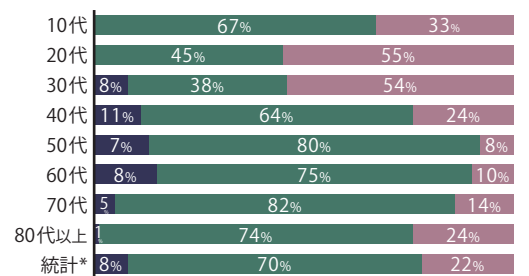
鱒沢地区の住みやすさについては、8割が「住みよい」と回答していますが、20～50代は「あまり住みよくない」と回答する人が3～4割います。また、40代以上は「住みよくない」という回答者も1割以下おり、特に50代は多くなっています。

世帯の特性（行政区別）



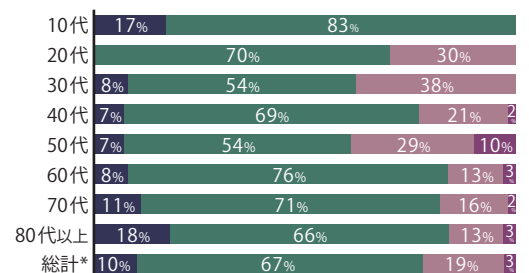
70歳以上のみ 18歳未満の子供がいる どちらでもない

自治会活動の参加状況（年齢別）



役員として参加 一般参加 参加していない

鱒沢地区の住みよさ（年齢別）



とても住みよい まあ住みよい
あまり住みよくない 住みよくない

生活で困ることや不安なこと

鱒沢地区で生活するうえで困ることや不安なことは、「家の周りの除雪や草刈りが大変、心配」と感じている人が48%を占めて最も多い不安になっています。

次いで、「農作業や農地の管理が大変」を挙げる人が38%を占めて多くなっています。

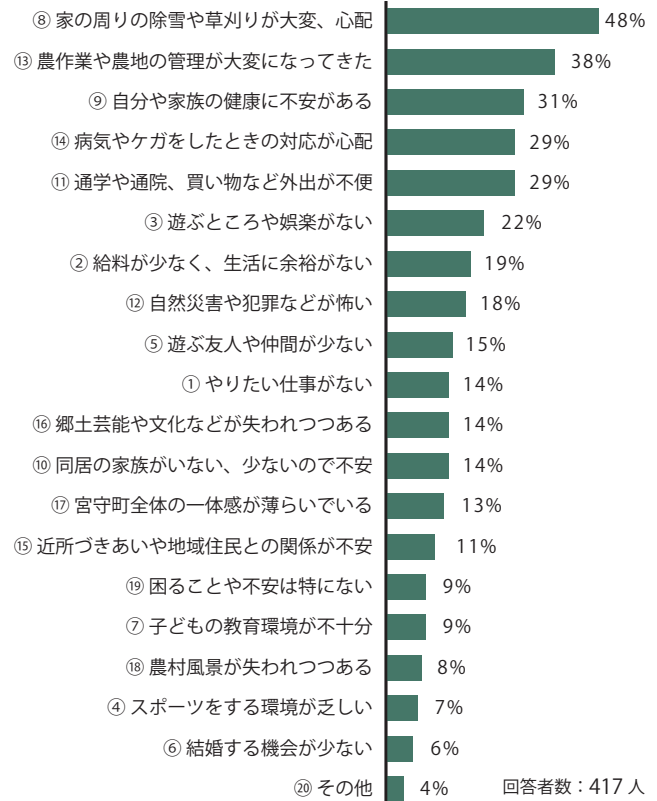
年代別で分析すると、年代によって異なる傾向が示されました。

30代以下では、「遊ぶところや娯楽がない」が最も多い意見であり、20代以下ではさらに「遊ぶ友人や仲間が少ない」も多くなっています。

20代から50代は、「給料が安く、生活に余裕がない」も多くなっています。



鱒沢地区で生活するうえで、困ることや不安なこと (統計補正済)



鱒沢地区で生活するうえで、困ることや不安なこと (年齢別)

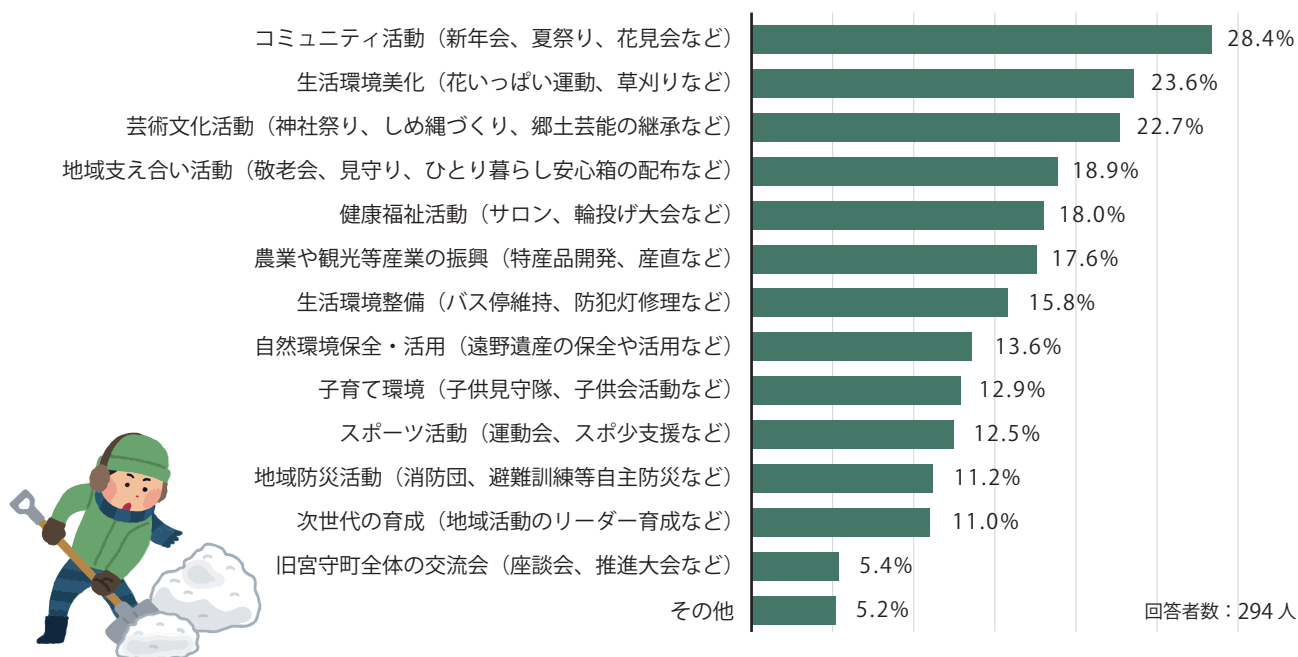
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
⑧ 家の周りの除雪や草刈りが大変、心配	0%	36%	32%	34%	44%	53%	56%	68%
⑬ 農作業や農地の管理が大変になってきた	0%	0%	27%	27%	37%	50%	53%	48%
⑨ 自分や家族の健康に不安がある	0%	18%	18%	17%	33%	29%	56%	41%
⑭ 病気やケガをしたときの対応が不安	17%	9%	23%	20%	21%	29%	39%	44%
⑪ 通学や通院、買い物など外出が不便	17%	27%	27%	27%	30%	23%	32%	38%
③ 遊ぶところや娯楽がない	50%	45%	36%	34%	26%	17%	4%	11%
② 給料が安く、生活に余裕がない	0%	27%	32%	27%	37%	18%	14%	5%
⑫ 自然災害や犯罪などが怖い	0%	0%	27%	10%	32%	17%	19%	17%
⑤ 遊ぶ友人や仲間が少ない	50%	27%	27%	15%	8%	7%	5%	17%
① やりたい仕事がない	33%	18%	23%	17%	25%	10%	9%	5%
⑯ 郷土芸能や文化などが失われつつある	0%	9%	9%	20%	12%	22%	12%	13%
⑩ 同居の家族がいない、少ないので不安	0%	0%	5%	5%	5%	18%	19%	27%
⑰ 宮守町全体の一体感が薄らいでいる	0%	9%	5%	5%	10%	19%	23%	13%
⑮ 近所づきあいや地域住民との関係が不安	0%	0%	14%	7%	19%	7%	12%	14%
⑲ 困ることや不安は特にない	33%	0%	9%	12%	5%	9%	9%	6%
⑦ 子どもの教育環境が不十分	0%	18%	14%	15%	16%	11%	2%	2%
⑱ 農村風景が失われつつある	0%	9%	0%	2%	7%	13%	11%	10%
④ スポーツをする環境が乏しい	0%	27%	9%	12%	8%	6%	4%	2%
⑥ 結婚する機会が少ない	17%	18%	14%	5%	8%	6%	0%	0%
⑳ その他	33%	9%	5%	7%	3%	1%	0%	0%

参加してもいいと思う自治会活動

最も多いのは「コミュニティ活動（新年会、夏祭り、花見会など）」で28%の人が選んでいます。次いで「生活環境美化」「芸術文化活動」で24%、23%を占めます。

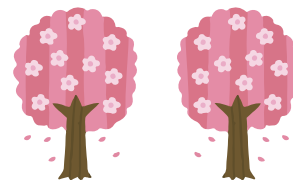
10～30代は「スポーツ活動」を選ぶ割合が比較的高く、30～40代は「子育て環境」、70代以上は「健康福祉活動」を挙げる割合が高いなど、年齢によって違いがみられます。

参加してもいいと思う自治会活動



参加してもいいと思う自治活動（年齢別）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
コミュニティ活動（新年会、夏祭り、花見会など）	33%	38%	29%	28%	23%	31%	24%	29%
生活環境美化（花いっぱい運動、草刈りなど）	17%	25%	21%	9%	25%	25%	39%	24%
芸術文化活動（神社祭り、郷土芸能の継承など）	50%	25%	29%	28%	23%	18%	17%	18%
地域支え合い活動（敬老会、見守りなど）	0%	0%	21%	9%	19%	23%	17%	35%
健康福祉活動（サロン、輪投げ大会など）	0%	0%	0%	6%	10%	22%	37%	38%
スポーツ活動（運動会、スポ少支援など）	83%	50%	29%	22%	13%	7%	2%	3%
農業や観光等産業の振興（特産品開発、産直など）	0%	0%	21%	6%	21%	24%	20%	12%
子育て環境（子供見守隊、子供会活動など）	0%	13%	29%	34%	17%	7%	2%	15%
自然環境保全・活用（遠野遺産の保全や活用など）	17%	13%	7%	16%	27%	13%	10%	3%
生活環境整備（バス停維持、防犯灯修理など）	0%	13%	7%	6%	19%	17%	17%	9%
次世代の育成（地域活動のリーダー育成など）	17%	0%	0%	3%	10%	15%	12%	21%
地域防災活動（消防団、避難訓練等自主防災など）	0%	0%	14%	19%	8%	14%	24%	0%
旧宮守町全体の交流会（座談会、推進大会など）	0%	0%	0%	0%	6%	3%	10%	18%
その他	0%	0%	7%	13%	2%	3%	7%	9%



4. 計画の目標と4つの基本方針

◆ 計画の目標

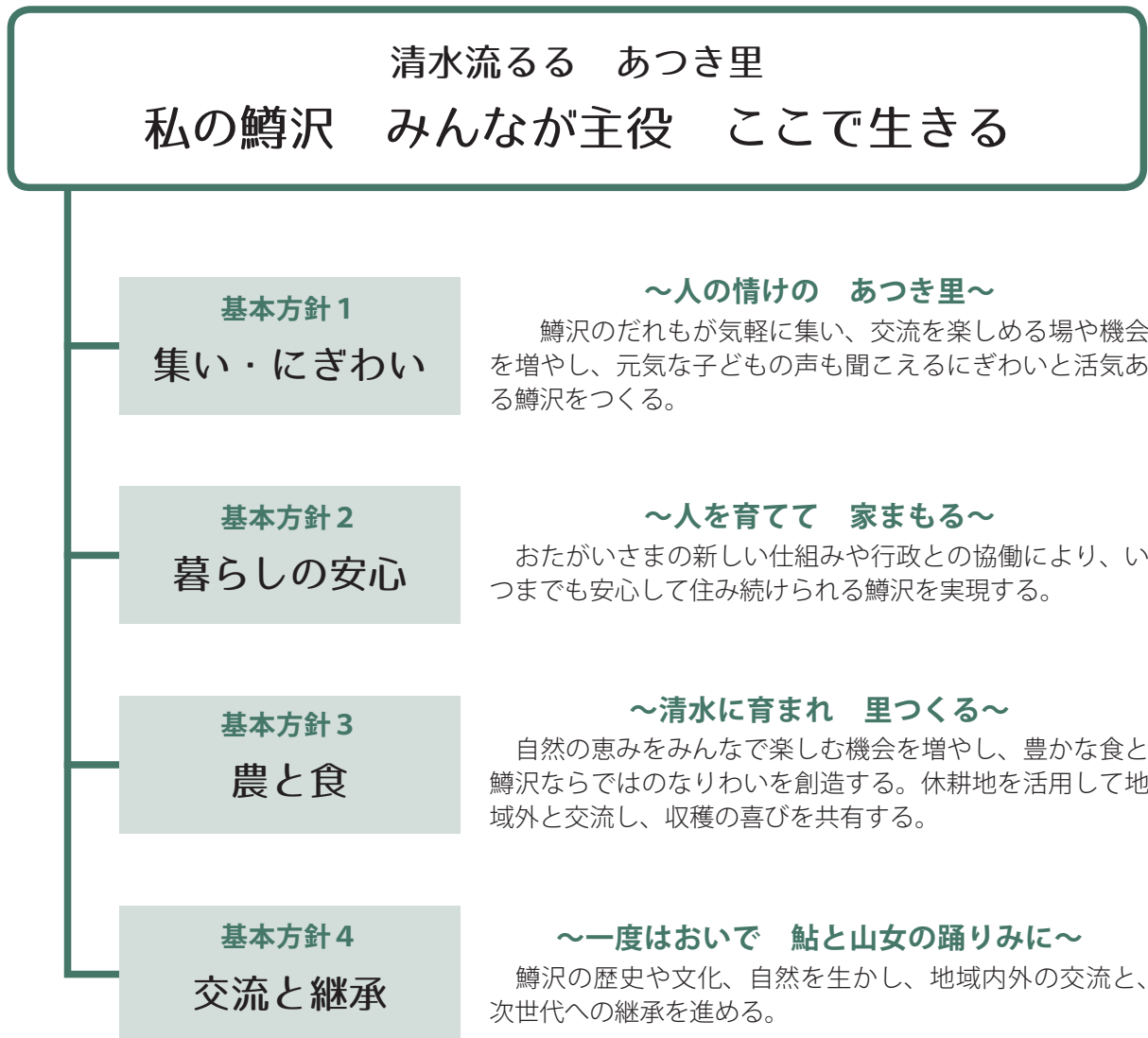
将来にわたり、鱒沢地区で安心して暮らし続けていける地域を実現するための目標として、住民一人一人が鱒沢地区の良さや暮らしの不安も含めた実態を知り、自覚と覚悟を持つことが何よりも重要だと考えます。

そのため、計画の目標を以下のように定めます。

◆ 基本方針

計画の目標を実現するための基本的な方針として、4つの基本方針を定めます。

計画目標



基本方針1 集い・にぎわい

種類	事業	目的	活動内容（案）
優先	①新地区センターの活用事業	新しい地区センターを気軽に誰でも集える場所とする。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会サロンの開催 セルフカフェスペースづくり みんなでスポーツ観戦
公募	②鱒沢銀座に集う	鱒沢のにぎわいの拠点として、人が集まり、交流を楽しめる店をつくり、活用する。	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の店舗で一杯飲み屋を始める
公募	③交流の場の整備	地区内外の人が集いやすい場として、ドックランを柏木平やインター付近に整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ドックラン場の整備（芝を植える等） ドックランでイベント開催

基本方針2 暮らしの安心

種類	事業	目的	活動内容（案）
優先	④お互いさま有償ボランティア事業	マイカーを持たなくても安心して暮らせる地域を作るとともに、おたがいさまの仕組みにより、生きがいつくりへつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会や先進地視察 ニーズを把握し、協力人材を募る 試験的な活動を経て、本格実施を目指す
優先	⑤地域支え合い除雪事業	地域の支え合いで行う除雪を促進し、安心して暮らせるまちをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 支え合い除雪への補助

基本方針3 農と食

種類	事業	目的	活動内容（案）
公募	⑥山野草を生かした健康自然食材の開発	鱒沢の自然を生かし、みんなで自然の恵みを楽しむ機会を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> 鱒沢住民が活用できる暮らしに役立つ「農&食手帳」の作成 試食会の開催 産直との連携 キノコのための里山の整備 ニホンタンポポ等山野草の栽培
検討	⑦農地の貸し出し	休耕田を家庭菜園用の農地として貸し出し、栽培技術を伝授するとともに収穫の喜びを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> 休耕田や指導協力者を募る 農機具小屋を整備する 農地の貸し出しと収穫交流会を開催する

事業の種類

優先事業 | 鱒沢地区全体で優先的に取り組んでいく事業

公募型事業 | 事業に取り組んでみたいと考える個人や有志チームを地区全体で応援して取り組む事業

検討事業 | 今後も引き続き検討を重ねていく事業

基本方針4 交流と継承

種類	事業	目的	活動内容（案）
公募	⑧猿ヶ石川 舟下りの開催	若者の参加交流を促進し、鱒沢人口の増加につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ジンギスカン舟下りの開催 ・音楽コンサートの開催 ・水上バイク大会
優先	⑨鱒沢の名所・ 旧跡ツアーの開催	鱒沢の名所や旧跡を知ることを通じて、地域に愛着を持ってもらうとともに、地域の人材発掘や人材活用、生きがいづくりにつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・名所・旧跡マップの製作 ・ドローンで空撮記録 ・桜と石碑の保全 ・“鱒沢マスター”の募集と育成 ・子どもを対象としたツアーの開催
公募	⑩雪まつり・ 雪合戦大会の開催	交流の機会やウィンタースポーツが少ない冬に地域住民の交流を図ることを目的として開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生から大人まで一緒に楽しめるイベントの開催（かまくらでジンギスカン、迷路づくり、滑り台など）
優先	⑪上鱒沢の沼地・河川広場の自然交流拠点整備	良質な地域資源である河川や水辺を生かした交流拠点をつくり、地域内外の交流を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり迷路、釣り堀の整備 ・釣り大会の開催 ・グラウンドゴルフ、ざっこバーベキュー
優先	⑫ハナカジカの 里づくり	地域の宝であるハナカジカの生育環境の整備や親しむ機会を増やし、郷土への愛着を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・生息環境を整備する

自治会等で行っている継続事業

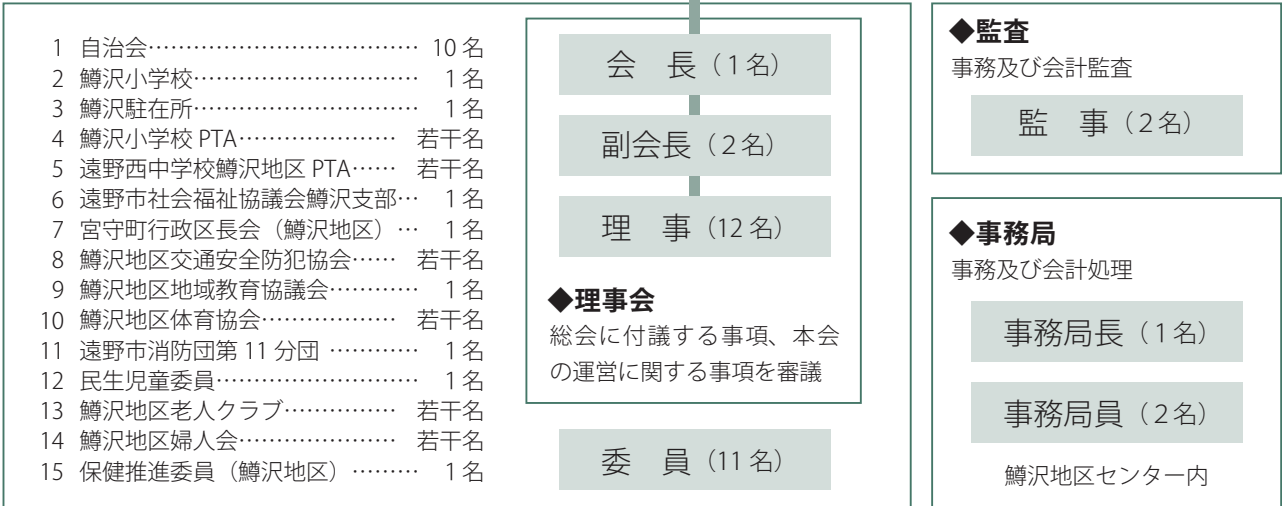
事業	目的	活動内容
花いっぱい運動事業	地域住民が花の植栽を通じ、環境整備を行うことで、景観形成や地域住民の交流へつなげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・花の植栽、環境整備
地域活性化事業	地域の活性化を目的とした行事やイベント、また、集会所や遠野遺産の修理・修繕により、地域活動が持続可能性を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・小正月行事等の世代間交流事業 ・遠野遺産関連事業として祭典や施設等の修理・修繕 ・集会所等の修理・修繕
健康福祉事業	地域住民の健康増進や、地域福祉の充実を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ等のニュースポーツを活用した体育交流事業 ・健康教室・健康体操教室
地域の支え合い支援事業	近所同士や行政区、鱒沢地区等で相互扶助により地域課題等に対応することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺整備事業 ・高齢者の見守り等

5. 計画の推進体制

◆総会

役員及び委員をもって構成される最高の議決機関

総会（役員及び委員）



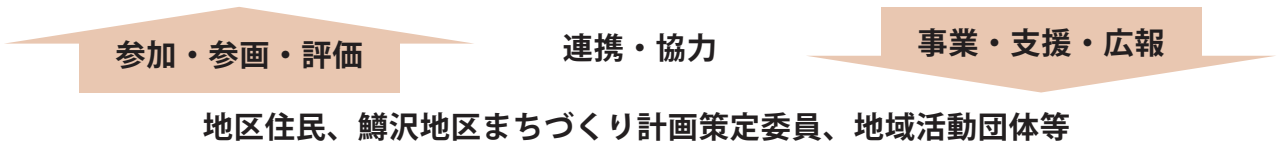
◆まちづくり推進部会

部会長（副会長1名）
副部会長（副会長1名）
部員（理事4名、地区住民 若干名）

鱒沢地区まちづくり計画書

まちづくり推進部会から、各基本方針に対し、リーダーを配置。勉強会、検討会及び事業実施に関しては、地区住民及び策定委員等を含め進める。

基本方針1 集い・にぎわい	基本方針2 暮らしの安心
基本方針3 農と食	基本方針4 交流と継承

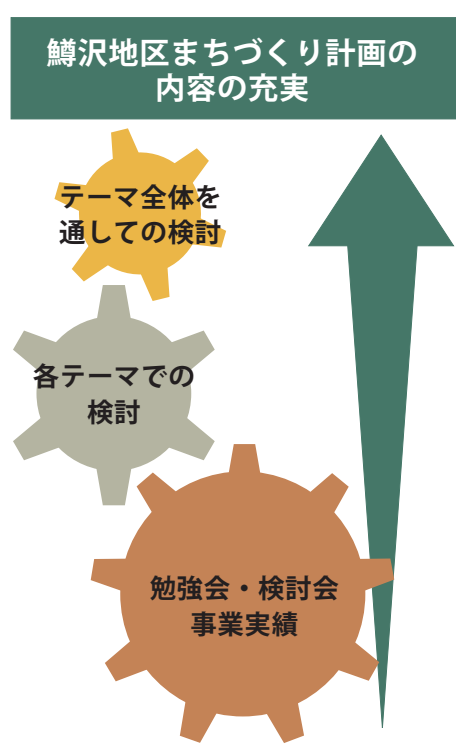


◆まちづくり推進部会

地区まちづくり計画の推進のためのテーマ全体を通しての議題について意見交換、議論を行う。

部会長（副会長1名）
副部会長（副会長1名）
部員（理事4名、地区住民 若干名）

部会の中には、各テーマのリーダー、副リーダーを含める。



方針の決定 検討・実施

<p>基本方針1 集い・にぎわい</p> <p>リーダー：推進部員 副リーダー：策定委員、地域住民等</p>	<p>基本方針2 暮らしの安心</p> <p>リーダー：推進部員 副リーダー：策定委員、地域住民等</p>	<p>基本方針3 農と食</p> <p>リーダー：推進部員 副リーダー：策定委員、地域住民等</p>	<p>基本方針4 交流と継承</p> <p>リーダー：推進部員 副リーダー：策定委員、地域住民等</p>
---	--	---	---

勉強会、検討会、事業実施、事業推進の検討

事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業

参加・参画・評価
連携・協力
事業・支援・広報

地区住民、鱒沢地区まちづくり計画策定委員、地域活動団体等